



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月15日



上場取引所 東

上場会社名 株式会社ロゼッタ
 コード番号 6182 URL <https://www.rozetta.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 五石 順一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部長 (氏名) 秋田 誠 TEL 03-6685-9570
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	1,292	29.9	82	149.6	84	154.7	61	680.3
30年2月期第2四半期	994	16.8	33	△66.6	33	△66.7	7	△86.7

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 61百万円 (680.3%) 30年2月期第2四半期 7百万円 (△86.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	6.08	5.80
30年2月期第2四半期	0.79	0.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	2,183	974	44.6	95.92
30年2月期	2,089	894	42.8	89.07

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 974百万円 30年2月期 894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

当社グループは平成30年2月期の第4四半期より大きな変革期を迎えており、業績の変動が極めて著しく予想が困難なため、業績予想は固定値としては開示しないこととしております。

平成31年2月期の連結業績予想は、最低額のみでの開示で、過去最高売上（2,006百万円）以上、過去最高利益（営業利益226百万円）以上との形としてのみ公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	10,156,260株	30年2月期	10,042,260株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	176株	30年2月期	176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	10,049,518株	30年2月期2Q	9,959,751株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年8月31日）につきましては、平成29年11月にリリースした『T-400(ver.2)』の受注が、大幅に増加し続けております。これに伴い営業部門から管理部門まで全社的な増員を継続し、今後の急速な業容拡大に向けた組織体制強化に取り組みました。

結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,292,496千円（前年同期比29.9%増）、営業利益は82,627千円（前年同期比149.6%増）、経常利益は84,086千円（前年同期比154.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61,104千円（前年同期比680.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

①MT事業

MT事業におきましては、平成29年11月にリリースしました『T-400(ver.2)』の新規受注が引き続き好調に推移し、売上高は327,214千円（前年同期比120.8%増）、セグメント利益は18,521千円（前年同期比44.9%増）となりました。

②GLOZE事業

GLOZE事業におきましては、独自の翻訳支援ツールによる翻訳の短納期、低価格、高品質化に努めましたが、販売費及び一般管理費の増加により、売上高は240,658千円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は11,346千円（前年同期比39.5%減）となりました。

③クラウドソーシング事業

クラウドソーシング事業におきましては、前第4四半期からスピード翻訳株式会社が増加したことにより、売上高は273,270千円（前年同期比149.8%増）となり、セグメント利益は11,660千円（前年同四半期はセグメント損失34,782千円）となりました。

④翻訳・通訳事業

翻訳・通訳事業におきましては、大口案件の増加等により、売上高は561,920千円（前年同期比28.4%増）、セグメント利益は87,921千円（前年同期比65.4%増）となりました。

⑤企業研修事業

企業研修事業におきましては、営業体制の強化に努めたことにより、売上高は115,306千円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は19,407千円（前年同期比5.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,296,403千円となり、前連結会計年度末に比べ78,733千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が38,190千円減少、前払費用が15,828千円減少、未収入金が26,662千円減少したことによるものであります。固定資産は886,773千円となり、前連結会計年度末に比べ172,416千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が198,139千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,183,176千円となり、前連結会計年度末に比べ93,682千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は813,383千円となり、前連結会計年度末に比べ144,178千円増加いたしました。これは主に前受金が108,990千円増加、未払法人税等が30,229千円増加したことによるものであります。固定負債は395,208千円となり、前連結会計年度末に比べ130,183千円減少いたしました。これは長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債は1,208,591千円となり、前連結会計年度末に比べ13,995千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は974,585千円となり、前連結会計年度末に比べ79,686千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益61,104千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、933,216千円となり、前連結会計年度末に比べ22,623千円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは348,103千円の収入(前年同期は89,766千円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上93,927千円、減価償却費の計上86,491千円、のれん償却額の計上10,631千円、売上債権の減少18,619千円、前受金の増加額108,990千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは241,780千円の支出(前年同期は130,194千円の支出)となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出262,644千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは128,688千円の支出(前年同期は99,345千円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出133,195千円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは平成30年2月期の第4四半期より大きな変革期を迎えており、業績の変動が極めて著しく予想が困難なため、業績予想は固定値としては開示しないこととしております。

平成31年2月期の連結業績予想は、最低額のみ開示で、過去最高売上(2,006百万円)以上、過去最高利益(営業利益226百万円)以上との形としてのみ公表いたします。

(注) 業績予測には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合がありますので、全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えて下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	973,632	935,442
受取手形及び売掛金	268,101	249,481
たな卸資産	※1 29,985	※1 56,429
その他	114,169	65,904
貸倒引当金	△10,751	△10,854
流動資産合計	1,375,137	1,296,403
固定資産		
有形固定資産	160,190	147,100
無形固定資産		
のれん	110,776	100,144
ソフトウェア	303,673	368,558
ソフトウェア仮勘定	97,956	241,853
その他	491	480
無形固定資産合計	512,898	711,037
投資その他の資産	※2 41,268	※2 28,634
固定資産合計	714,357	886,773
資産合計	2,089,494	2,183,176
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,286	121,322
短期借入金	14,940	865
1年内返済予定の長期借入金	260,140	257,128
未払法人税等	17,367	47,597
賞与引当金	20,389	23,203
前受金	136,800	245,791
その他	108,279	117,475
流動負債合計	669,204	813,383
固定負債		
長期借入金	525,391	395,208
固定負債合計	525,391	395,208
負債合計	1,194,595	1,208,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	230,093	239,384
資本剰余金	1,210,282	1,219,573
利益剰余金	△545,709	△484,604
自己株式	△225	△225
株主資本合計	894,440	974,127
新株予約権	458	458
純資産合計	894,898	974,585
負債純資産合計	2,089,494	2,183,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	994,917	1,292,496
売上原価	439,207	531,319
売上総利益	555,710	761,177
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	165,183	229,521
賞与引当金繰入額	12,962	17,018
その他	344,457	432,008
販売費及び一般管理費合計	522,603	678,549
営業利益	33,106	82,627
営業外収益		
受取利息	8	25
受取配当金	—	10
助成金収入	600	—
為替差益	389	238
その他	647	2,914
営業外収益合計	1,645	3,189
営業外費用		
支払利息	1,682	1,610
その他	58	120
営業外費用合計	1,740	1,730
経常利益	33,011	84,086
特別利益		
保険解約返戻金	—	11,513
特別利益合計	—	11,513
特別損失		
固定資産除却損	—	1,672
特別損失合計	—	1,672
税金等調整前四半期純利益	33,011	93,927
法人税等	25,180	32,822
四半期純利益	7,830	61,104
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,830	61,104

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	7,830	61,104
四半期包括利益	7,830	61,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,830	61,104

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,011	93,927
減価償却費	40,922	86,491
のれん償却額	33,911	10,631
固定資産除却損	-	1,672
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,196	1,775
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,596	2,813
受取利息及び受取配当金	△8	△35
保険解約損益(△は益)	-	△11,513
支払利息	1,682	1,610
売上債権の増減額(△は増加)	753	18,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	562	△26,444
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,261	10,035
前受金の増減額(△は減少)	20,896	108,990
その他	735	37,028
小計	128,996	335,602
利息及び配当金の受取額	8	35
利息の支払額	△1,682	△1,610
法人税等の支払額	△37,556	△13,926
法人税等の還付額	-	28,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,766	348,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,210	△21,200
無形固定資産の取得による支出	△88,037	△262,644
貸付金の回収による収入	-	163
定期預金の預入による支出	△600	△638
定期預金の払戻による収入	-	15,374
敷金及び保証金の回収による収入	1,654	-
保険積立金の解約による収入	-	27,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,194	△241,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△4,240	△14,075
長期借入金の返済による支出	△55,162	△133,195
配当金の支払額	△44,764	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,895	18,582
自己株式の取得による支出	△74	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,345	△128,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△259
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△139,773	△22,623
現金及び現金同等物の期首残高	997,952	955,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 858,179	※ 933,216

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	GLOZE事業	クラウドソー シング事業	翻訳・通訳 事業	企業研修 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	128,409	218,630	103,401	430,237	114,239	994,917	-	994,917
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,800	-	5,988	7,365	153	33,307	△33,307	-
計	148,209	218,630	109,390	437,602	114,392	1,028,225	△33,307	994,917
セグメント利益又は損失(△)	12,786	18,740	△34,782	53,154	18,412	68,311	△35,204	33,106

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△35,204千円には、セグメント間取引消去、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	GLOZE事業	クラウドソー シング事業	翻訳・通訳 事業	企業研修 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	326,014	240,658	158,461	452,362	114,999	1,292,496	-	1,292,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	-	114,808	109,557	306	225,873	△225,873	-
計	327,214	240,658	273,270	561,920	115,306	1,518,369	△225,873	1,292,496
セグメント利益	18,521	11,346	11,660	87,921	19,407	148,857	△66,229	82,627

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,229千円には、セグメント間取引消去、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。